

核兵器なくそう・世界青年のつどい

第5回準備委員会

日時 2009年3月3日(火)午後18:30~20:30

場所 日本原水協会議室

出席者

野村、国吉(全労連)石垣(うたごえ)島田(民青)前川、梶原(原水協)樋口、折原悠子、藤野、新井(埼玉高校生平ゼミ)形岡(ボーカリスト)

報告

「つどい2009in静岡」参加者:250人

Blog、メルマガにて「『つどい2010inニューヨーク』キャンペーンオフィシャルグッズ」アイテム投票結果発表、Blogに「つどい2009in静岡」フトリポート、参加者の感想をアップ

議題(別紙議案書)

1、現地実行委員会映像上映

今日はパス。

2、つどいの感想交流

* 樋口

5回目だけど、いつも青年のつどいを楽しみにしている。平ゼミに入って初めての人がつどいに行くと、「こんなに考えている人がいるんだ」とみんなビックリする。今回も新しい子がいっぱいいたので、嬉しかった。

年々感じるものが違う。初めはスゴイ、カッコいいと思ったが、今は一緒に作りたい。

* 折原

青年のつどいは、大人の集会とは雰囲気が違うから、楽しくて。集会や分科会は、周りが大人ばかりで固くなっていた。大人は寝ている人も多い。分科会(第)は、一番前に座っていたし、面白かったし起きていた。

楽しいから平ゼミもつづく。集会も楽しいから行こうと思うし、楽しいのはいいと思う。楽しく勉強できるから、よかった。私は、つどい3回目。

* 藤野

つどいは...すべてが初参加。まず、この2日間で、学校で学べないこと。裏の事情、深いところが学べてすごい刺激的だった。つどいの前に、集会や分科会で話されたこと、頭の知識がつどいのクイズで整理された。

* 梶原

私は、ビデオカメラを撮影しながら見ていた。全体を通して、あそこに参加している青年が、一体感、連帯感を得られたのが、非常に良かった。それぞれ、帰っているんな取り組みをしていく、全国にいっぱい仲間がいると思えた取り組みになった。

初めて参加した人にとって、得るものが多かったのではないかと思う。パネルディスカッションも安齋先生の説明も分かりやすかった。後半は敷居の低い企画もあったので良かった。どういう層に、参加者のターゲットを絞るのは難しいけど、つどいは初参加の人に絞るのがいいと思った。

* 島田

クイズが印象的。ここまで盛り上がったつどいはこれまでなかった。感想を述べたこともよかった。自分が感じた想いを周りに伝えることが感じられてよかった。パネリストの話も個人的に興味深かった。イ・ジュンキュさんの話は韓国の事情が良くわかって面白かった。ガインザさんの話も良かった。交流するのが大事。

* 国吉

コーディネーターだったので、上からみんなの目がこちらに来ているのがわかって、それがキラキラしていた。引き付けられる話だったんだと、自分でも面白い話をしていると思っていた。最後にまとめをしないといけないので、直前まで悩んでいたが、それぞれの話を聞いて、具体的なことを言わないといけないと思っていたけど、イさんが、それぞれの分野の活動が、平和活動のプロセスなんだといていた、私にとっても発見。

* 石垣

歌を、テーマソングに選んでもらって、ありがとうございます。また4月にレコーディングをしてCDを作ります。

クイズの部分は、普段より共感を前面に出した企画になった。他の部分がトークトークだったのが、今回は映像、パネルディスカッション、クイズ、歌という、青年らしいものだった。ガインザさんが、すごく良かったと言っていた今回は、本集会や分科会と何が違ったか、ぼくは一体感だと思う。それを次に活かしていけたらと思っている。うたごえとして、テーマソングをどうやって、出していくかこれからも考えていく。

* 形岡

昨年、広島のつどいで歌わせてもらいました。よろしく。

* 前川

報告も踏まえて。250人の参加。神奈川からバスでつどいだけに来た人も15人いた。感想などは、つどいのブログにアップしましたが、ものすごい数が寄せられている。説得力のある感想。ほとんどの人が、ピクニデーのことを重視していなかったのが、原水爆禁止運動が静岡から始まっているんだということ、第五福竜丸が焼津に帰って来て、始まったんだと知れたという感想があった。ブログも見てください。写真もあります。

参加した人が、イキイキとした表情をしていて、映像、パネルディスカッション、クイズ、すべての企画が成功したと思う。成功には、現地静岡との協力が欠かせなかった。若い人、特に10代の人たちが、こちらも励まされる感想を出してくれた。

ガインザさんがいいテンポで話してくれて、とても聞きやすかった。スライドも効果有。リスニングにピッタリという感想もあった。

* 野村

参加者として客観的に見れていない。スタッフの顔ばかり見ていて...。つどいの中では奇跡が3回起こっている。そのたび、スタッフが驚いていた。あれがないこれがない...。それをまとめて、うまくいくよと励ましていた。現地のスタッフは、徹夜などもあったが、参加者の反応をみて、ニコニコしていたのが印象的。IWTくんの陰の頑張りがあった。これらと参加者の協力で今回のつどいの成功につながった。

企画そのものだけでなく、「核兵器をなくしたい」と、どれだけ一緒に頑張る青年が増えるかが大事だと思っていて、そういう意味でも大成功だった。交流をもっとしたかったという声があるのも聞いている。

得たものは大きい。本気で署名を集めないといけないと思った。これを全体のものにしていって、夏にむけて署名をあつめる原動力にしていきたい。

* 新井

いろんなことが学べた。核兵器のこととかちゃんと考えないといけないことだけど、堅苦しくなりがち。つどいに行くと、いろんな人の言葉が自分のなかにすんなりと入ってきて、すごいなあ。気持ちの表れるような感じ。初めての参加。埼玉の「いかリング」企画で、ピクニ行く？って誘われて行くことに。

ここから各論

現地作成映像

* 藤野

今まで戦争だとか、世界が平和じゃないという話を聞いてはいたが、DVDを観ることで、さらに裏というか、あまり知れない事実が知れてよかった。軍事費の数値とか、そうなんだとビックリしたり、納得したりした。

* 折原

最初に映像があって始まる、始まるというドキドキした感じから、淡々とした映像に見入った。「みんなで観ている」という雰囲気、つどいが始まる雰囲気を感じた。事実が淡々と流れることによって、入ってきた。知らないこともあったし、軍事費など数値のこととかこんなに？って。重いことなんだけど、ちゃんと入ってきて、淡々としているのが良かった。

* 樋口

企画を作っている側の感じになっちゃって。いつも平ゼミで企画を作るときに、参加者の心にガツンと来るのが考えているから、そういう目でみてもいい映像だった。核兵器とピキニなどつながって。ビデオ作りたいな。

* 新井

2時間映画やCMを作ったこともあるけど、良くできているなと思った。内容がすごい、短い言葉でも心にまっすぐ入ってくる。自分の欠けていたところにスポッと入ってくる。ピキニのことも知らなかったし。全体の集会は、みんながピキニのことを知っている前提で始まるから。青年のつどいで、その流れが分かって良かった。

* 前川

途中まで作っている段階で見えていた。これをどういう風に展開して、落ちに持っていくのが不安だったが、出来上がったのをみて、うまくつながっていてすげえと思った。自分以外にもほとんどの人がそう思っていた。

フィリピンのコラソンさんや、アメリカのガインザさんも、「欲しい」「良い」と言っていた。「黙っていることは見ていることと同じ」というテロップに「印象的」「心に残った」などの感想があった。映像を作っている人のメッセージも伝わった。

* 国吉

パネラーの皆さんとの打ち合わせで見れなかった。

* 石垣

15日の夜22時に静岡に行ったら製作者がいて、ほぼ出来上がっていたプロットに僕がダメ出しをし、その場でストーリーを作った。それがどうだったのか、最後までわからなかったけど、僕の言ったことをけっこう取り入れてもらっていて、それがすごく良かった。

映像という、事前に作りこんでいるものだからこそ、現地と中央で作ることが出来たものだったと思う。

* 島田

僕も見れていませんでした。カメラ撮影をしていたので、映像には集中できていなかった。絵で見るのは心に入ってくるね。

* 梶原

スタッフの中では、比較的ゆったりと見れていた。軍隊の持っている暴力的性質、兵器や核兵器の恐ろしさ。当時の運動も分かった。僕らがこれから取り組む署名の役割もわかった。結構、良い学習材料になったと思う。部分的核実験禁止条約が出ていたところで、「核兵器の拡大に歯止めをかけた」ということがあったのは、ちょっと引っかけた。これを入れるなら、80年代のIMFのことを載せたほうがいいかなと。キッシンジャーなど、アメリカの主導者たちが核兵器廃絶を言い出したこと。96年から、マクナマラがいていることなどのつながりも大事。修正を入れるとしたら、そういうところかな。

* 野村

僕も映像が始まったときは、裏方仕事で前半を見れていない。あれいいね。ただ、画面右上に「アナログ」と表示されているので、WEBにアップできないのが惜しい。フリー画像などを使ってWEBで流せるもので作ってもらえたらいいなあ。

内容は筋が通っていた。自分も物を作っているときに、いろいろ入れるより、筋を大事にするので。もし売るこ

とができれば、運営、準備、現地委員の交通費くらい簡単に稼げた。それくらい良い作品だった。

パネルディスカッション

* 藤野

ガインザさんの字幕がリアルタイムでよかった。本人の気持ちまで伝わってきているような感じで、頭に入ってきた。第6分科会でわかりやすく面白く話が聞けた安齋先生は、パネルディスカッションでも分かりやすく話してくれて良かった。

* 折原

ガインザさんの話は第1分科会でも聞いたけど、みんなが知っていることを前提にしていたので、自分にはわからないキーワードがあった。雰囲気理解している感じ。でも、青年のつどいでは、こういうことが言いたかったんだというのがわかった。

みんな活動を始めるときに、決定的な何かがあるわけではない。というのは、私もそう。身近な人から聞いて、活動を始めた。自分も近くの人に話して、友達や周りの人につないでいきたい。いずれは親も納得させたいと思った。

イさんの話は、逆境の中で平和運動に挑んだというのが、身近なところからというのとちょっと違って、強いなあと思った。すごい。それしか出てこない。自分ひとりから始めるというのが、国の違い、一番関心のあることが国で違うし、すごい。そういうところを見習わないといけない。自分を強く持つことが大事だと思った。

* 樋口

イさんの話は、たまにわからなくなった。安齋さんとガインザさんは、ベテランの人で、イさんの言葉「自分の生活と平和をどうつなげていったらいいのかが、私のこれからの平和活動だ」と言っていたのが、印象に残っている。

* 新井

イさんの話が、日本語ですごい。でも、聞き取れないこともあって、聞くので精一杯でメモも取れなかった。韓国は日本と違うけど、平和というひとつのことをやっていく道筋というのは、みんな悩みながら、壁にもぶつかりながらやっていくのは同じなんだ、日本だけじゃないんだと感じた。いろんな国の人が考えていることなんだと実感できた。しかも、ガインザさんの言葉のなかに「平和運動をしている人は、すごく明るい人たち」みたいなことを言っていて、「だから、僕はその人たちと活動を続けたいんだ」というのはあるなと。やっぱりひとりじゃ何もできないし、すぐにどうしようとなってしまふ。世界とか、日本の中でとか、埼玉とか関東の中で、おんなじことを思って、活動している。そういう人と出会ってこれからの活動を共有できることはすごい良いことだと思った。

* 前川

高校生の感想はすごい。今日は来てくれてありがとう。パネルディスカッションを作った側として、「わたし」ということ、自分たちが作っていくものというのを感じてもらえるように。3人はそれぞれすごいことをやっているが、けっして特別なことじゃないと、参加者が感じてくれたことは、自分たちが目指したものに限りなく近づいていた。

スイミーを思い出していた。南の島にいたたくさんの小さい赤い魚の中に一匹だけ黒い魚がいて、ひとりぼっちだと思っていたが、黒い魚が赤い魚たちの眼になって、大きな魚を追い返した。周りとは違って、ものすごく大事なキーパーソンになれる。みんなそれぞれが、自分たちの持っている役割を果たせるかどうか大事。そう思わせてもらえたし、励ましてもらえる大事な話だった。

* 国吉

コーディネーターですごく緊張していた。直前の会議まで、3人に何を話してもらうかを議論していて、そのなかでどういうきっかけで活動を始めることになったかを話してもらうこと。それだけでいいのかなと思っていたけど、それが逆によかったなと思った。自分の日々の中で起こる出来事と、平和や核兵器など大きなこととつながっていること、今はそれに目を向け関わっているというつながりが見えたかなと、ホッとした。

イさんの話しの中で、日本が核武装することに脅威を感じるという話が、衝撃的。もっとアジアの人たちと一緒に

にやっていかないといけないと思った。お互いのことを知らないと疑心暗鬼になってしまうんだなあ。核兵器をなくすために世界中の国とつながっていかないといけないとつくづく感じた。

いろんな良い言葉をもらえた。署名をまとめの提起にしようかと迷ったんだけど、ひとつのことを言わなくても、自分がこれなんだろうって思ったことを行動に移していくことがひとつの答えなんだなあと思えた。みんな、それぞれ、入ってくる言葉とずっと覚えている言葉は違うんだろうけど、それでいいんだと思った。

* 石垣

ものすごく話の内容が濃かった。1時間ではもったいなかったし、まとめるのはムリ。問題提起をしてもらおう場だと考えていた。関連書籍などを紹介するといったフォローアップをこちら側がしていけるようにすればいいんじゃないか。

2時間というつどいの枠のなかで、次の企画を作るために質問を2人で切ってしまったのが残念。フォローアップまで世界青年のつどいとしてやれたらよかった。とにかく衝撃だけが残った。投げっぱなしにならないように次回は気を配りたい。

* 島田

イさんが話している時に安齋先生がとても頷いていた。3人とも良い話だった。どこが良かったか思い出せないが、最後のイさんの自分の悩みと平和の問題をどうつなげるかが自分にとっての平和活動だというのが印象的だった。一体感が得られた。

* 梶原

石垣さんと全く同感。1時間だと難しい。じゃあ、スピーカーを1人にしたらいいかといえばそうではなく、3人だから多角的なものになった。フォローのために書籍を置くのも同感。

イさんの、韓国の人たちは日本の核武装を恐れているという話がけっこう印象に残っている。過去の侵略戦争に向き合わざるを得ない。イさんも、安齋先生もあきらめない姿勢で、自分には何もできないと思わないことが大事だと思った。今日の高校生もそうだが、ビデオを回していると、参加者は熱心にメモを取っていた。

* 野村

コーディネーターがパネラー全員の言いたいことを拾って話していたのが良かった。質問用紙がなかったのも、なんとなく良かった。時間がもの足りない感じでも良かったかな。3時間やったら寝ていたかもしれない。パネラーそれぞれ発言時間を守っていたし、質問した人たちも聞きたいことを的確にパッと伝えてくれていた。

クイズ

* 藤野

まず、楽しめた。初めて参加して、ビキニのことや原爆のことが自分の頭のなかで整理できたのが良かった。

* 折原

最初の映像からそうだったけど、全体の順番、企画の構成が良かった。埼玉平ゼミで参加した6人中4人がステージに上がったけど、みんな初参加者。自分と樋口さんが上がれなかったんだけど、知ってるつもりになっているんじゃないかと考えさせられた。単純に勉強になったけど、正解していく人たちにビックリした。焼津港はそのままだと思っていて、明日行くんだと思っていたし。ああいう企画がなかったら、早く温泉行きたいってウダ~となっていた。

* 樋口

プログラムをみて、最後がクイズというのにどう終わるんだろう、大丈夫かなあと心配になっていた。でも、良かった。

* 新井

ホントに何も知らなくて、すべてが初めて。なんだなんだと思っていた。そのまえの安齋さんの話で、「あ~、言ってたな」というのを覚えていたけど、ほとんどわからなかった。周りの反応をみて、判断していた。最後のス

ページは、平ゼミ2人で二択だし、分かれようとした。早く降りたいと思ってたのに、最後の問題で友達と反対の答えにしたら残ってしまった。最後の問題や途中にある問題は今でも覚えている。問題文も短くて、答えもひとつだから、そのまま入ってくる。朝から夕方までで、こんなに学べたんだと思った。

* 前川

ミラクルって起こるんだと思った。自信満々のベテランが落ちていく。まさかの敗退。面白かった。問題を作ったスタッフが、1国非核宣言で引かかってくれたと喜んでるのが、良かったなあと。クイズのタイトルの「Stand up!」も、その人の発案。それが、みんなに受けたのが良かった。

* 国吉

最初、参加者の表情が気になっていたけど、全体の流れが良かったし、問題も良かったので、みんなが盛り上がっていた。良かった。

* 石垣

学習なんだから、パネルディスカッションの前にも思ったけど、逆に後ろに来たことで、ずっと聞いていた参加者、それも昼からず〜っと溜め込んでいたものがはじけたのがすごく良かった。クイズにして、みんなにスポットが当たったのが良かった。クイズにこだわる必要はないが、次回以降もみんなにスポットが当たる企画を入れていきたい。

* 島田

盛り上がった。これがすべてを表している。参加型になって、良かった。ずっと座っているのも悪くはないが、動かすのはより良い。

* 梶原

最後にみんなで盛り上げられる企画があったのが良かった。昨年の広島のつどいの感想は、盛り上がる場所がなく、つまらなかったというのがあったが、今日の感想を聞いて、これは重要だったと思った。クイズの中身も、ひっかけもあり良く出来ていた。焼津港はわからなかった。地元の方がよく作ってくださった。

* 野村

良かった。活動交流を期待していたという感想もあった。しかし、それでも盛り上がったのは良かった。

その他

* 石垣

歌「歩いていこう」の感想を聞きたい。

* 樋口

ロック調のものとかで、みんなで「オオーッ！」みたいに盛り上げられるのも作って欲しい。

* 野村

これで終わるの!? っていう驚きと、送り出しで歌っていて終わりではなく、外に出て行っても歌っている声が聞こえてくるので、参加者は帰っていくけど企画が続く感じになっていたのが良かった。時間があれば、舞台パフォーマンスとかもできた。

* 前川

ガインザさんが本当にノリノリだった。

* 新井

入り方に迷った。(アイスブレイクの歌)

* 野村

段取りがすごいよかった。

* 石垣

入りは、落ち着いて始まっていく雰囲気を作っていたかった。人がいっぱいでも前に進まなくても、聞いてもらえるように。

* 折原

作っている人たちが大変そうに見えなかった。

* 藤野

クイズと同じように、みんなで歌えるというところが良かった。歌詞もわかりやすく、これからも歌っていけそう。

* 新井

フレーズが頭に残っている。

* 折原

次の日の墓参行進に行くときも歌ってしまった。

3、「つどい2010in ニューヨーク」にむけて

* 前川

グッズは携帯クリーナー付ストラップに決まった。

大阪のデザイナーに依頼して3月17日までに3～5パターンのデザインがくる。きたらメルマガでデザイン投票を行う。

3月18日から4月6日までが投票期間。最終的には4月7日の準備委員会で決めたい。

準備委員会では値段と形と作成数を決めたい。赤字にならない設定を。5月6日の平和行進出発集会でお披露目したい。

* 折原

いかリングでも携帯ストラップを作る。

* 前川

競合しないようにしたい。

* 石垣

ストラップかモバイルダスター形式化を決めたらどうか。

* 前川

ストラップと決まっている。

* 野村

いかリングのストラップの値段は？

* 樋口

原価200円なので、学生は200円。オトナは300円プラスカンパを。宣伝にしようと思っているので利益は考えていない。

クリーナー付きストラップ。生徒会でつくっているお店に安くしてもらっている。600個で180円だった。綿入りTシャツ型でカラーも3種類。

* 石垣

安い。普通はもう一ランク高くなる。

* 前川

ストラップ、クリーナーそれぞれ価格がついているので単価は300円くらいになるかも。500個作っても300個以上売らないとペイできない

* 石垣

しっかりしているものをつくらないと500円はポッタクリと思われる。

* 前川

つどいブログのURLを入れたい。

* 野村

500個では全部売ってもそんなに利益にならない。1000個くらい売らないと。

* 樋口

売れると思う

* 野村

夏のつどいのチケットに付けて1000円にするという手もある。

* 折原

オトナだね。

* 石垣

予算は？

* 前川

資材作成費で30万円。このほか宣伝費で37万円くらい。ポスター作成を考え直せばそれなりの予算が取れる。

* 石垣

初期投資は全部は使えるのか。

* 野村

ポスターはいらない。本体とかぶる。

* 石垣

フライヤーは？

* 前川

作る。

* 野村

50万くらい売り上げたいから、一番売れそうなやつを。

* 石垣

スポンジ型にしよう。

- * 前川
じゃそれで。
- * 石垣
それだと18万で1000個。別途構成代がかかる。
- * 前川
ストラップの費用は別。
- * 樋口
連絡して値切ったら。
- * 前川
ストラップで16万円。
- * 野村
コイルとクリーナー付きで。パッケージはどうなっている？
- * 石垣
OPの袋に入っている。
- * 野村
バックカードが入っていれば、QRコードやつどいのことが印刷できるしそんなに高くない。
- * 前川
袋に入れるのは別途単価5円かかる。
- * 野村
高校生はいくつほしい？
- * 新井
2010年だから2010個
- * 樋口
なくそうにちなんで7950個。平和行進時にどれだけの人が会うのか。
- * 前川
全国で10万人。
- * 石垣
青年が参加して売らないといけない。製作個数に関しては運営委員会で持ち帰ったらどうか。
- * 前川
青年の署名目標は100万筆。できるのか。広島・長崎に参加しようというのとセットでやりたい。
- * 野村
普通の署名は大人もやっているの、青年だけでカウントするのは大変。自主申告制にするか。

- * 樋口
青年分だけ送ってもらうか。
- * 野村
申告してもらったほうがいい。職場で回したら、回したのは青年でも書いた人は違うかも。
- * 石垣
青年独自の署名をつくって集めないと分けづらい。
- * 野村
100万の署名用紙をつくるだけで予算がなくなる
- * 前川
実際みんなが署名にとりくむかどうかが問題。こちらの呼びかけが大事。
- * 樋口
埼玉平ゼミ独自の署名は昨年の秋から始めたが、目標は立てていなかった。
- * 折原
NPTに向けては2010筆にしようかな。
- * 新井
ひとりで1000筆集めるよ。
- * 前川
青年独自の署名を作るかどうかは、準備委員会で今後決定します。
- * 石垣
青年独自のものをつくらなくてもデータがあればいいのでは。
- * 樋口
署名欄が多いと集めたときの達成感がない。新婦人が達成したらパズルをしている。そういうのがいい。
- * 前川
独自につくるのかは考える。
- * 石垣
どういうふうに取り組んでもらえるようにするか。
- * 前川
持ち帰ります。時間なので「つどい広島・長崎」の企画構想は次回に議論したい。読んでおいてほしい。

今後の日程確認

次回の準備委員会は4月7日(火) 18:30~20:30 日本原水協会議室です。